



会員のひろば



短歌 勉強会

時の速さにとまどいて生きた証に
自分は何を残せるだろう
梅崎 由貴美

若き日に父と交わした酒の味
思い出せずに写真と語る
大野 一

オカリナの発表会に子供らの
真剣に吹く音色なつかし
斉藤 邦子

古里の水張る田んぼ水無月に
苗の平行きれいに続く
瀧澤 いづ子

十代に行けぬ無念を晴らすごと
ちよっと笑ってシニア大学
土橋 芳美

初恋の人を訪ねる心地して
桜のウコン御意黄(ぎょいこう)に会う
中山 寿子

ガザの子ら大き鍋釜突き出して
難民救済で生きる術受く
福栄 真理子

網棚にあげたる荷物忘れられ
どこまで行きしかあの夏の日を
森下 良子

キリっとした投球前の顔まぶし
日本ハム玉井のクローズアップ
中浜 敏明

(玉井大将。網走管内佐呂間町出身。少年時代の夢をかなえました。)

※玉井大将という人物を知っているひとが
少ないので詞書ことば(がき)をつけました

《学生ボランティア団体「まごのて」新代表挨拶》

こんにちは！生活支援ボランティア団体まごのて・代表の岡垣文香です。

昨年11月から代表を務め、半年以上が経ちました。私は「団体の構成員に寄り添った運営」を日々心掛けています。まごのては北大生が中心となっている団体です。大学生は授業やバイト等で忙しいため、サークルの活動頻度は人それぞれです。そんな構成員一人一人の事情に配慮し、運営の方から活動に参加できていない構成員を活動に誘ってみたり、授業がない土日に地域のイベントに参加したりしています。

通常の生活支援の依頼に加えて、地域のイベントに参加することは、「地域とのつながり」を作る上でもとても大切なことです。築いたつながりを通じて、まごのてとしての活動の幅をもっと広げていきたいと思っています。また、イベントに参加して得たノウハウを生かして、今後はまごのてがイベントを主催したいと考えています。現在「高齢者向け北大キャンパスツアー」を計画中です。秋ごろに開催する予定ですので、皆さまもご都合がよろしければ是非いらしてください。

最後になりますが、今年度は昨年度よりも多くの生活支援のご依頼をいただいております。最近の依頼内容については、外出付き添いや室内清掃、庭作業など、非常に多種多様です。この広報誌をご覧になっている皆さまも、何か生活の困りごとがございましたら、お気軽に私たちに相談してみてください。私自身としても、まごのてがもっと良い団体になれるよう、代表として引き続き尽力してまいります。

まごのて 代表 岡垣 文香



事務局からのお知らせ 持ち主を探しています

6月中旬、シーズネット研修室にあった忘れ物です。

8月末までにご連絡がない場合は処分しますので、お心当たりの方は
お電話ください。 連絡先：011-717-6001